

# Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト チャレンジ農園プログラム **市長報告**を実施します！

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業を推進するため、「Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト」に取り組んでいます。（参考：別添リリース資料）  
このたび、「チャレンジ農園プログラム」として今津リフレッシュ農園でスマート農業技術の実証実験を行った企業が**市長に対し成果報告**を行いますので、ぜひ**当日の取材**をお願いいたします。

## 1 日時

令和8年3月31日(火) 15:00 ~15:30 （※受付は 14:30～）

## 2 場所

福岡市役所 9階 市長特別応接室

## 3 概要（予定）

チャレンジ農園プログラム実施企業による成果報告

- ・株式会社SACMOT s
- ・Carbon Xtract株式会社
- ・株式会社アイナックシステム

〈報告を実施する企業の詳細は別紙〉



R6.8.6 採択式 @FGN



R7.4.3 中間報告会 @今津リフレッシュ農園

【本リリースに関する問い合わせ先】

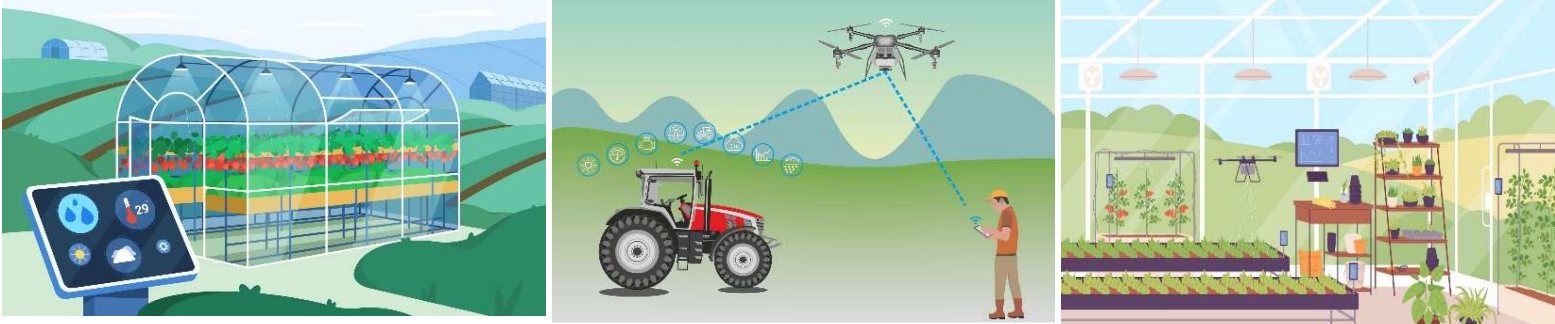
農林水産局農業振興・イノシシ等対策担当 岡本 [電話 092-707-1607]

「福岡市農業 × スマート農業」

Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト 参加企業募集

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、市内生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングプロジェクトを開始いたします。

**6月14日より参加企業等の募集を開始**しますので、周知ご協力をお願いいたします。



イラストは、イメージ

① 市内生産者とのマッチングプログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の技術・アイデアを有する**企業等
- **支援内容** : ①市がワンストップ窓口となり、きめ細やかなマッチングを実施  
② 8月に市内生産者を招いたマッチングイベントを開催 など
- **申込締切** : 令和6年7月3日(水) 本プログラムの参加登録完了以降、随時マッチングを開始

② チャレンジ農園プログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の社会実装を目指し、今津リフレッシュ農園内で実証実験を希望する**企業等
- **支援内容** : ① 今津リフレッシュ農園内の実証実験フィールドの提供  
ハウス2棟、露地畑1枚（各10～20坪程度）を1社につき1フィールド  
② 賞金 100万円（実証実験の必要経費） など
- **選定方法** : 書類審査、プレゼンテーションにより参加企業等 **3社** を決定します  
（書類審査は、7社以上申込みがあった場合に実施します）
- **スケジュール** : **申込締切 令和6年7月3日(水) 17時**  
参加企業等決定 令和6年8月上旬（予定）  
実証実験開始 令和6年9月下旬（予定）

※市内生産者の課題等の例

詳細は公募要領の別紙「福岡市内生産者が抱える課題及び想定されるスマート農業技術要件」参照

- ✓ 軟弱野菜（春菊・小松菜など）：夏場の生育不良、高温対策、病害虫の発生
- ✓ いちご：収穫・選果・パッキング作業効率化、施肥・防除自動化
- ✓ トマト：高温・強日射対策、収穫モニタリング など




【本リリースに関する問い合わせ先】

農林水産局政策企画課 森塚 [電話 092-711-4840]



公募要領・  
申込フォームは  
こちら

## 報告を実施する企業

団体名	事業内容
<p>株式会社 SACMOT s</p>  <p>(株) サクモツ</p>	<p><b>低農薬・低肥料で高収量・高付加価値を実現する次世代農業</b></p> <p>葉面浸透材（化学農薬や化学肥料を大幅に削減する微粒子）と環境記憶種子（高温条件下でも作物の収量、品質を落とさない技術）によりコスト削減・高収入を目指す。最終的には上記2つの技術を統合し、効果を最大化したPlant Drug Delivery System（PDDS）を提供する。</p>
<p>Carbon Xtract 株式会社</p>  <p>カーボンエクストラクト（株）</p>	<p><b>膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO2施用装置の開発</b></p> <p>膜DAC（ナノ分離膜を用いて大気中からCO2を回収する技術）を施設園芸のCO2施用に利用するなど、化石燃料を使用しない環境配慮型の栽培方法の確立を目指す。</p>
<p>株式会社 アイナックシステム</p> 	<p><b>水やり・土の暖め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増</b></p> <p>自動水やりシステム・局所ヒーターシステム・いちご自動収穫ロボットを、小型栽培棚においてパッケージ化。都市型農業での普及を見据えたいちご栽培のハーフオートメーションを社会実装することで、農作業時間の大幅削減・収益増を目指す。</p>



上:サクモツ 下左:カーボンエクストラクト 下右:アイナックシステム

実証実験用ハウス、露地（今津リフレ内）